

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.2</b>	0.40	
1 開口部遮音性能				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	<b>4.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温				<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.43	
4 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.5</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>2.4</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率		宿泊部の昼光率=4.75%		<b>2.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		宿泊部は、カーテン・庇によりグレアを制御している		<b>2.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.5</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		内装材は全面的にF を採用している		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>2.0</b>	0.30	<b>2.3</b>	0.38	
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能				-	-	<b>3.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙である		<b>5.0</b>	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00	<b>3.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		個室24.43㎡/床以上、多床室25.35㎡/床以上である		-	-	<b>5.0</b>	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	<b>3.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.31	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管VLP・給湯管SUS・汚水管VPを使用し、Eは不使用		<b>5.0</b>	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.6	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電設備を設置、電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震クラスAを採用	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	LAN・PHS網により通信手段の多様化を図っている、精密機械の地下空間への設置を避けている	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.7	0.29	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			2.2	0.31	2.2	0.50	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率：共用部0.243、宿泊部0.25	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制		PAL=45%、BPIm=0.75	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR換算値=26%、LED照明設備の採用をしている	4.0	0.30	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR換算値=26%	4.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓に加え、節水便器を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のデティールで、GL工法とOAフロアを採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=83%である	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場、管理用車両の駐車施設及び待機スペースを確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの項目の過半を満たしている、広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	